

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月3日(月) 13:00~14:30
- 3 開催場所 羽島北高等学校会議室
- 4 参加者
 - 会長 青木 秀益 (柳津青少年育成市民会議推進委員)
 - 副会長 永田 美奈 (羽島北高等学校PTA3年次委員長)
 - 委員 熊谷 康 (カラフルタウン岐阜プレジデント) 欠席
 - 河野 公洋 (岐阜聖徳学園大学経済情報学部教授)
 - 日比野きみ江 (柳津佐波女性の会) 欠席
 - 廣瀬進一郎 (北塚地区自治会顧問)
 - 三輪 浩子 (社会福祉法人羽島郡福寿会事務局長)
 - 学校側 蒲 尚胤 校長
 - 三浦 徹大 教頭
 - 税所 淳子 事務長
 - 鷺見 浩章 教務部長
 - 福島 佳代子 進路支援部長
 - 須田 勇人 生徒支援部長
 - 佐野 裕太 ICT推進室長

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 本校の振り返り「データから見た羽島北 生徒アンケート」より

意見1: ボランティア活動に積極的に参加してくれる生徒が多かった。来年度もお願いしたい。特に吹奏楽部は年々、より多くの地域行事に参加していただき、評判もよく、大変有り難い。

意見2: ボランティア活動に参加した生徒にアンケート等を行ってはどうか、生徒の感想から、活動のニーズなどがわかるはず。

意見3: 羽島北高の生徒の自転車マナーはとても素晴らしく、教員側が考えるほど悪くない。

意見4: 能登地震のボランティア活動、高山市の老人宅での雪下ろし作業等、積極的に

活動している学生(羽島北高卒)がいる。羽島北高での教育によるものと感じている。

意見5：説明で、学校での取り組みが保護者の多くに伝わっていないと懸念されていたが、今年度から導入された「すぐーる」(メール配信)で学校の情報が伝わり有り難い。より活用をお願いしたい。

(2) 各校務分掌の振り返り「令和6年度自己評価・学校関係者評価報告書」より

意見1：運動部の生徒も、小中学生に教えたりして、地域における交流ができるとよい。

また、さらにもっと、地域の祭り行事などに参加してほしい、そのため市の人材バンクに登録するなどしてほしい。本校生徒であれば十分に貢献できる。

意見2：地元自治会が羽島北高との協働で行いたいプランがある。協力願いたい。

意見3：進路決定をテレビやWEB情報で行い、大学へ進学する生徒が多いと推察する。地域振興のためにも、地元産業へ興味・関心をもてるような情報提供もしてほしい。建設業など、現在では高校生に人気のない職種もあるが、社会に必要な仕事であり、そういうものにも興味を持たせてほしい。

意見4：生徒の多くは自宅から通学可能な進学先を選ぶが岐阜の産業は衰退している。その中での進路指導の工夫をお願いしたい。

意見5：県内での就職は厳しい。家族も県外就職しており県内の産業の衰退は実感している。

意見6：生徒が大学受験を意識するのが遅いと感じる。学校においては、早い段階から進路決定について様々な刺激を与えてほしいと思う。

(3) 本校のスクール・ミッションの策定について

第2回学校運営協議会で意見交換後、県教育委員会と協議した「スクール・ミッション」の修正案を説明。その後、修正案は承認された。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、今年度を振り返っての課題や来年度に向けた学校運営等について、どの委員からも活発に意見が得られ、本校の運営方針やその改善のための具体的な手立ての示唆を得た。すぐに改善できる点については実行していく。

また、学校運営協議会委員の方々のもとより、学校の職員間でも情報を共有し、未来志向の学校運営を積極的に行っていくことを確認した。

本校の存在意義や期待されている役割、目指すべき学校像を示す「スクール・ミッション」について承認が得られた